



市内では146人が米寿を迎えました。(9月1日現在)

これからの健康を願って

市敬老福祉金の贈呈

市では、長寿を祝福し、米寿(88歳)を迎えた人および100歳以上の市民の皆さんへ敬老福祉金を贈呈しています。9月19日(火)には、米寿を代表して上林四丁目の本城邦三さん宅を粟市長が訪問。「これからも元気でご活躍ください」と祝福のメッセージを贈り、敬老福祉金と花束を手渡しました。ゴルフとスキーが趣味で、現在も会社役員を務める本城さんは「年を取ると運動し過ぎてはだめ。食べ物は腹八分と言いますが、運動も腹八分が大切です」と元気の秘訣を語りました。

市民協働で憩いの場を守る

アダプトプログラム調印式

9月26日(火)、野々市ライオンズクラブと市との公共施設管理ボランティア支援(アダプトプログラム)事業調印式が行われました。アダプトプログラムは住民と行政が協働で環境の保全を図るもので、市では平成14年度より導入されています。野々市南部公園の里親となった野々市ライオンズクラブは、今後公園の特徴である水路をはじめとした公園清掃を年2回行います。市長は、「常にきれいで市民に親しまれる公園になっていくとうれしい」と期待の言葉を述べました。



46番目のアダプトプログラム参加団体となりました。



マカロンは11月上旬から1の1 NONOICHIで販売されます。

ころんと華やかな野々市の味

野々市特産品マカロン完成報告

10月10日(火)、市内菓子店サンニコラの職人藤田雅秋氏と市観光物産協会の魚住理事長が粟市長に、野々市の特産品を使ったマカロンの完成を報告しました。11月に開催される IKERU NONOICHI 2023 に向け、チョコレートを手がけた藤田氏。野々市の味をより生かしたいと、マカロンを考案しました。心ときめく鮮やかな3種類のマカロンには、それぞれキウイビネガー、狸々の酒かす、椿の花びらジャムが使われています。粟市長は、「新たな特産品となると嬉しい」と期待の言葉を述べました。

秋空のもと 威勢良く

本町地区秋まつり

10月14日(土)に本町地区・布市神社の秋まつりが行われました。二丁目からは豊年野菜神輿、四丁目からは獅子舞が巡行。野菜神輿では、担ぎ手が「ワッショイ」と威勢の良い掛け声を秋空に響かせ、住民を楽しませました。四丁目の獅子舞では、『棒振り』として初めて女子が参加し、なぎなたを手に「ヨイヤー!」と華麗に舞いました。対する『頭もち』も真剣な表情で獅子を構え、熱い演舞を繰り広げました。午後には獅子舞と野菜神輿の「アワセ」も行われ、会場は活気で溢れました。



【左】本町四丁目・獅子と棒振り、【右】本町二丁目・豊年野菜神輿

まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎227-6056

狙いを定めて、全集中!

第44回郷地区運動会(ペタンク大会)

新型コロナウイルスの影響で開催ができなかった地区運動会が、4年ぶりに10月1日(日)に開催されました。天候不良のため、本町地区、富奥地区、押野地区は中止となりましたが、郷地区のみ「ペタンク大会」を実施し、会場の市民体育館は参加者約400人の熱気で包まれました。ペタンクは1つの標的に向かってボールを投げ合い、どちらのチームがより近づけるかを競い合うゲームです。老若男女問わず1チーム3~4人で編成し交流を深めました。子どもからお年寄りまで、勝っても負けても、たくさんの笑顔であふれる和やかな大会になりました。

大会の結果は次のとおりです。

- ・優勝：堀内
- ・準優勝：郷・柳町
- ・第3位：堀内新・三日市・三日市新



市役所がおまつりムードに様変わり!

カメラまつり

市役所とあらみや公園を会場に、今回で14回目を数えるカメラまつりが9月16日(土)に開催されました。市役所ロビーでバイオリン演奏が披露されたほか、中庭ではロックやスカの演奏に加えて今回初めて楽器体験を実施。初めて触るギターやドラムなどから出る大きな音に、子どもも大人もびっくり。また、ホール椿ではeスポーツ体験や世界の遊び体験、市民活動団体による体験やワークショップなどが数多く並び、会場全体が遊んで学べる交流の場となっていました。



あらみや公園では、絵具入りカプセルを投げつけてアート体験。